

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314



庶民的で人情味あふれる街中に立つ照陽分教会  
(岡山市中心部に近いながらも、比較的閑静である)

立教180年  
3月号

「有志  
ひのきしん隊」実施

青年会



高所でのカーテン取り付け

青年会笠岡分会(上原明勇委員長)は、2月18日、大教会で毎月恒例の有志ひのきしんを実施、5人が参加した。当日は、翌日に実施される「教会長夫妻研修会」で使用する講堂のカーテン張りを行った。上の窓にもカーテンを張る必要があるため、足場を組み、一枚一枚丁寧に取付けていった。

教会長夫妻研修会

開催

2・19 大教会

弟子会長  
委員育成  
教会

教会長子弟育成委員会(森本忠善委員長)は、2月19日、大教会で「教会



熱心なふりかえり風景

長夫妻研修会」を開催、104人が受講した(3月19日も開催)。この研修会は、教会長子弟育成プロ

ジェクトの取り組みの一つで、笠岡では「縦と横への育成」をテーマに、育成者の研修として実施された。午前は、本部の教会長子弟育成委員会制作のDVDを通しての研修。教会長子弟をとりまく現状や育成のポイント、実体験を通しての心得などについて理解を深めた後、ふりかえりを行った。

午後は、パネルディスカッションが行われた。パネリストは、田中隆之福山分教会長、山田睦浩甲井分教会長、佐藤和代芳井分教会長夫人の3人。それぞれが、教会や家庭、地域で取り組んでいる事や、自身が親の姿から教



パネルディスカッション

わった事などを様々なエピソードを交えながら語った。

受講者は、この研修会を通して、「陽気ぐらしの道場」たる教会の育成のあり方について、意識を高めた。

当日は、本部布教部の育成担当の取材があり、その様子が、2月の本部布教部例会の席で紹介された。

よふぼく勉強会開催  
テーマは「地域へのにいがけ」

2月月次祭後

育成部

育成部(吉岡壽部長)は2月21日、祭典終了後、午後1時15分から会議室で「よふぼく勉強会」を開催、約30人が参加した。テーマは「地域へのにいがけ」。

講師の杉原善朗氏(明石市分教会後継者)は「教祖百三十年祭のお打ち出しを機に、にをいがけをする様になり、今年で4年目に入る。朝づとめ後にJR明石駅前で「陽気ぐらし」の小旗を持参しおちばを遙拝した後、十二下りのおてふりと路傍講演。また『元の理』を伝えている。にをいがけを通し、自



自身の体験を話す杉原善朗氏

身の癖性分、いんねんを自覚させられる事があるが、それでも継続できる原動力になっているのは、相談できる布教師との出会いであり、自身の結婚式で激励下された大教会長様、また本会青年会実行部員当時に中山大亮青年会長様の天理駅前でのよろづよ八首に参加させて頂いたことにある」と話された。

また「自分自身が消化できない親不幸のいんねんを自覚しながら、断ち切ることの出来ない苛立ちに教えを願った布教師から『子供が同じ苦しみを通り返すで』と聞き、それからの自分自身が覚めた思いで、子供のためにも一

歩前に進むことが出来るようになった。今では、お道の信仰ある教会に生まれたことに加え、自身が布教師の中で教祖の温かい親心に触れさせて頂ける喜びに感謝して、来年迎える青年会100周年の旬の勢いに乗って、日々をいがいげを勇んでつとめ、少しでも教祖にお喜び頂ける様に頑張りたい」と締めくくられた。

## 修養科生活の声



### 修養科生活を終えて

福勇分教会 鳥井昭男

今回、修養科に入らせてもらったのは、親の身上を見せていただき、結婚を前に少しでも成人させていだきたいとの思いからでした。

自ら志願した修養科ですが、今後のことを考えると不安もあり、あまり前向きな気持ちにはなれませんでした。教会を離れ修養科生活を送るうちに、今まであたり前だと思っていたことがそうではないことに気づきました。健

康であること、仕事ができること、家族がいること、あたり前のように過ごしていた日常生活はすべて親神様のご守護のおかげであり、いつも感謝の気持ちで通らせていただかなければならないなあと思いました。

笠岡からは、身上の方と一緒に修養科に出させてもらいました。どうか助かってもらいたいの思いから、教養掛の先生方と毎日おさづけを取り次がせていただきました。この三ヶ月で不思議なご守護を見せていただき改めて親神様のご守護のありがたさを感じました。

教会に帰ってからもおちばで学んだことを忘れず、親の思いに素直に通らせていただきたいと思えます。

### 修養科を終えて

稲倉分教会 永戸千枝子

私の岳の身上を助けたい一心で9・

10・11月の修養科に天理教をほとんど知らない二男のお嫁さんが、5才の孫と6ヶ月の双子三人を連れて入ってくれた事への感謝の気持ちで、12・1・2月の修養科を決めたのは11月20日の事でした。

肺癌、乳癌の転移、リンパ節にも転移の身上で余命11月いっぱいとい医師から言われ、緩和ケア病棟に入院する事になると言われましたが、悩んだ末、最後の御恩報じと思いい、修養科入学を決意しました。無事最後まで修了出来るかどうか不安をかかえながらの入学でした。

最初は身体がしんどいばかりで、もう無理かもと何度おもったかわかりませんでした。2ヶ月目には咳と倦怠感と息苦しさで起きているのもしんどい状態でしたが、教養掛の先生方の真剣なおさづけを毎日お取り次ぎして頂き、そして笠岡大教会に繋がる多くの方々、上級の会長様、修養科の同期の皆様日々おさづけを取り次いで頂く中に、3ヶ月目には少し楽になってまいりました。

そして病院の定期検査で癌の進行がゆつくりなっていますと医師から言われました。大きな御守護を頂き無事に修養科を修了することが出来ました。感謝の気持ちで一杯です。

皆様に感謝の心を忘れぬように教祖のひながたを目標にますます成人出来るように、にをいがい、おたすけ、おさづけに頑張りたいと思えます。

立教百八十年 二月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめてをどり	地方	役割	区分	講話	祭主	扨者					
											坐り勤			上原志郎	大教会長様	岡崎真一				
											前			森本忠善	指図方	浅野明教				
後	森本忠平	賛者	森本忠善																	
佐藤香苗	今川佐智子	虫明好美	浅野明教	谷内伸自	岡崎真一	吉岡壽	笹尾正治	上原浩	門脇郁子	田中ますみ	大教会奥様	上原繁道	上原明勇	上原誠一郎	佐藤道孝	森本忠善	中村邦義	中村道徳	中村剛	
門脇加津	岡崎豊子	内海安子	赤木素志	山田敏教	高木昭祥	杉原博之	横山逸郎	武内清明	谷内美知子	森本富美子	上原順子	吉岡誠一郎	上原志郎	佐藤道孝	森本忠善	中村道徳	中村剛	門脇元教	三島渉	田中隆之
吉岡八恵	中村初美	三島照美	虫明立生	田林久嗣	浅野明教	上原明勇	渡邊隆夫	岡崎真一	横山小智榮	高木孝子	武内正美	今川昌彦	中島誠治	田中隆之	佐藤真孝	三島渉	門脇元教	門脇元教	三島渉	田中隆之
												四月講話	森本忠平							

大教会だより

◎第908期修養科

自 立教179年12月1日  
至 立教180年2月27日

\*教養掛

三ヶ月間

山野弘実  
(大教会役員・上下分教会長)

一ヶ月目

渡邊泰造  
(品治分教会長)

二ヶ月目

岡崎治喜  
(弥高山分教会長)

三ヶ月目

上原繁次  
(大教会准役員・陶山分教会長)

\*修了者

福勇 鳥井昭男  
福倉 永戸千枝子

◎教人資格講習会(中期)修了者

立教180年3月8日終講  
稲瀬 前原英子

◎本部食堂ひのきしん

自 立教180年2月16日  
至 立教180年2月22日

金浦 樋上謙二  
自 立教180年2月23日  
至 立教180年2月28日  
笠岡 徳山 毅

討報

藤本五郎氏

引野分教会長  
2月20日出直されました。  
享年 87才

こころの詩

笠岡の教友が選ばれ掲載されていましてので転載いたします。(敬称略)

▼『天理時報』

▽2月12日付「時報歌壇」

・福満◎ 福島悦子さん  
植物にこころがあると知りし日に  
「まあるく太れ」と寒肥おきぬ

▽2月19日付「時報俳壇」

・備中◎ 池田広子さん  
初詣米寿の杖を確と曳く

▼『陽気』誌3月号「道柳」より転載。

▽佳 詠

・東悠◎ 田林美智子さん  
結論は神に委ねて理の世界

▼表紙写真 (照陽分教会提供)

## 立教180年 定期巡教表

教会名	巡教月日	巡教員	教会名	巡教月日	巡教員	教会名	巡教月日	巡教員
廣町	2月13日	吉岡 壽	陽 實	2月12日	上原明 勇	雲 東	2月11日	大教会奥様
福 廣	2月 7日	三島 涉	御 野	3月 8日	田中隆之	呉 中	2月 8日	谷内伸 自
福 勇	3月11日	門脇元 教	香地華	2月 9日	谷内伸 自	大江橋	2月 5日	大教会奥様
福 芦	2月 9日	上原明 勇	真 金	2月11日	門脇元 教	品 治	2月 7日	上原志 郎
福 満	2月 8日	佐藤道 孝	稲 倉	2月13日	大教会長様	久 福	2月 8日	上原繁 道
福 岩	2月12日	佐藤道 孝	稲 瀬	2月 5日	吉岡誠一 郎	呉 福	2月 5日	佐藤道 孝
西 村	2月10日	上原明 勇	稲富士	3月15日	岡崎真 一	鶴 眞	3月10日	中村邦 義
福 年	2月 7日	吉岡 壽	稲 讚	2月10日	上原繁 道	川島郷	3月10日	大教会長様
引 野	2月 6日	杉原博 之	門司港	3月12日	大教会長様	作 備	3月 6日	谷内伸 自
福 昭	2月11日	上原志 郎	大恵山	3月12日	上原繁 道	輝 華	3月13日	中村 剛
福 春	3月 5日	上原志 郎	東水島	3月10日	田中隆之	錦ヶ原	2月 3日	中村 剛
福 中	2月12日	杉原博 之	高児島	2月 5日	杉原博 之	行 藤	2月11日	上原繁 道
福富士	2月10日	吉岡 壽	高 丸	2月 6日	上原 浩	眞 府	2月 9日	大教会長様
福 東	3月 9日	大教会長様	出 雲	3月11日	山野弘 実	吉 舎	2月 4日	吉岡誠一 郎
東福山	2月 6日	中村道 徳	瑞 雲	2月 6日	今川昌 彦	清 嶽	3月 5日	谷内伸 自
福 南	2月13日	杉原博 之	錦 洋	3月14日	佐藤道 孝	上小島	2月10日	門脇元 教
福 順	2月11日	三島 涉	米 府	2月15日	佐藤道 孝	木津和	3月 6日	上原明 勇
福 節	3月 8日	中村道 徳	弓ヶ濱	2月 8日	岡崎真 一	國 須	2月 7日	吉岡誠一 郎
福 備	2月 3日	大教会長様	西 伯	2月 9日	岡崎真 一	上吉野	3月12日	門脇元 教
福 輝	3月13日	上原繁 道	米 美	2月 5日	中村 剛	上 備	2月 8日	上原明 勇
坪 生	2月 5日	上原明 勇	伯 仙	2月10日	岡崎真 一	河 佐	2月 4日	上原繁 道
八 尋	3月10日	吉岡 壽	照 雲	2月 6日	中村 剛	上川邊	3月12日	佐藤道 孝
深 安	2月 6日	中村邦 義	松 都	2月 7日	今川昌 彦	甲 井	2月 6日	中島誠 治
笠 尋	3月 3日	中村 剛	樺 島	5月 3日	上原志 郎	上 父	2月 7日	門脇元 教
芦 品	2月13日	上原志 郎	新輝豊	2月 3日	上原 浩	阿木行	3月 2日	大教会長様
安 那	2月 8日	大教会奥様	亀田山	2月12日	大教会奥様	宇津戸	3月 5日	大教会長様
芦田川	2月 3日	中村道 徳	出雲川津	3月10日	山野弘 実	河 面	3月 8日	中島誠 治
三 郡	3月10日	大教会奥様	天場山	2月 8日	田中隆之	府世原	3月12日	田中隆之
芦 常	3月 5日	中村邦 義	簸ノ川	2月10日	田中隆之	神 驛	3月 5日	吉岡 壽
芦加茂	2月 6日	三島 涉	多古浦	3月13日	大教会奥様	神 免	3月 8日	山野弘 実
恵 陽	3月14日	中島誠 治	瑞 北	2月 9日	田中隆之	葦 沼	2月 7日	中島誠 治

## 二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の親心溢れる御守護により まだ寒い日が続きますが今年も立春を過ぎ ほんの少し寒さも和らぎ気持ち春の訪れを感じる季節となりました事は誠に有難い事と喜ばせて頂いております

私共は寒さを嫌いつつも四季折々の温度変化に有り難さも感じて日々は喜び感謝の心一杯に生活くちさせて頂いております 又朝夕には御礼申し上げつつ 御恩報じを念じて たすけ一条のご用の上に努め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は此の教会の二月の月次祭でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同喜び心たすけ心も一人に明るく陽気に勇んで 坐りつとめてをどりをつとめさせて頂きます 今日の日を楽しみに御前に寄り集いたすけの元立てたるおつとめの理を戴きたいと 声高らかにお歌を唱和する皆の真実の状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいませようお願い申し上げます

さて今年一年の成人の歩みの徹底を図るべく今月来月と部内巡教をさせて頂いております 笠岡に繋がる皆がそれぞれの信仰の元一日を温ね かしものかりものの喜び感謝の心を強くして 日々たすけ一条の真実を積み重ねて行く所存でございます 又同じく今月と来月の二回に分けて 教会長夫妻研修会も開催させて頂いております 次の塚教祖百四十年祭に向かう人材育成の上から 中核を担う教会長子弟の育成をするべく まずは教会長夫妻が育つ努力をし 育てる意識を高めて行きたいと存じます 又育てる思いは教会長子弟に留まらずよふぼく信者の子弟にまで広げて行く所存でございます

何卒親神様には 旬々にお掛け頂く親の声を我が心として 精一杯に成人の道を歩む皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に尚一層自由の御守護を賜り 世界一列を助けたいとの親心に触れ 共にたすけ一条に邁進する人が弥増して お望み下さる陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます



早いもので三月になり、段々と暖かくなってきました。三月と言えば、卒業式や卒園式の時期ですね。自分の娘もこども園の卒園を迎える事になり、子供の成長は早いなあと思いました。娘の成長を見て私は嬉しく思いました。更にこれから娘も小学校に入学し、色々な事を学んでいく娘の姿をととても楽しみに思っています。そんな中、最近自分自身の日頃のあり方を考えた時、普段の生活に流れて色々な事が上手くいかない事が多かったりと、不足に思う日々を通っているな、と改めて痛感させられる出来事がありました。夫婦や家族の間の問題や先日に行事中に足を怪我し全治一ヶ月と診断されるといふ節をお見せ頂きました。その時に体の自由がとれない事はもちろんの事、家族に支えられている事を改めて感じ身にかしもの・かりものの尊さを強く感じました。まだまだ自分も背伸びばかりで、実践出来ていないことが大いにあります。が、僕達夫婦共々も娘の成長を見ながら、成長していかねければと思ひ、今まで夫婦で出来なかつたことを今年には実行に移していこうと思つていきます。

昭和55年 (1980年) 立教143年		昭和54年 (1979年) 立教142年	
7. 17	大教会理事・島根分教会四代会長夫人門脇章子出直(七十七歳)	7. 26	奉告祭：十一月四日
6. 25	第八十三母屋笠岡語所第二期工事を終了し南棟竣工、真柱様御入り込み	7. 29	こどもおちばかえり第二団出発(神邊 八月一日まで)
6. 26	吉舎分教会建築模様替	7. 31	こどもおちばかえり第三団出発(福山 八月三日まで)
6. 21	土佐元先生を迎え布教所長躍進の集い開催(二一四人)	8. 1	こどもおちばかえり第四団出発(直轄 四日まで)
6. 7	川木義昭、川田初恵両先生を迎え少年会育成講習会開催(六一人)	8. 6	第二十三回夏季英語講習会(九日まで 七一)
6. 5	大教会承事・陽備分教会四代会長虫明昌平出直(六十歳)	8. 21	教会長配偶者講習会(九〇人)
5. 3	大教会承事・葦陽分教会二代会長梅尾孝夫出直(八十一歳)	8. 23	こかん様に続く会開催(三五人)
4	立教百四十三年上半期布教実修会(七月まで)	8. 26	府庄分教会四代会長佐藤サマコ任命(三代会長佐藤 馨 昭和五十三年八月七日出直)
4. 1	少年会鼓笛講習会(三一五人 四日まで)	9. 21	布教実修要員研修会
3. 27	第二十四回春季英語講習会開催(三〇日まで 八〇人)	9. 25	立教百四十二年下半期布教実修会始まる(十二月まで)
	就任奉告祭：四月六日	10. 25	笠岡大教会史、部内教会史、上原佐吉伝を本部史料集成部に提出
3. 26	湯田原分教会四代会長高木昭祥任命(三代会長高木二夫辞任)	11. 4	少年会おつとめまなび総会開催(六〇〇人)
3. 23	第三回母親講座開催(二〇〇人)	11. 26	新山邑分教会建築模様替及附属建物増改築
2. 28	布教推進要員実修会	12. 26	就任奉告祭：昭和五十五年三月八日
2. 20	ふしん常任委員会(以後この年四回開く)		廣町分教会建築模様替、神殿建築及附属建物増築並内部改造
1. 27	世話人・井筒敏夫先生 大教会役員、教会長に講話(第八十三母屋笠岡語所)		遷座祭：昭和五十五年一月十四日
1. 21	大教会史編纂常任委員会(以後この年十二回開く)		鎮座祭：昭和五十五年十月十一日
			奉告祭：昭和五十五年十月十二日
		12	小鼓研修会終了(十一・十二月に五会場で九〇人参加)
			この年の大教会年間統計 初席者六百五十八人 おさげの理拝戴者三百八十一人 修養科修了者百四十人 教人登録九十九人 教人総数二千八百三十六人 よらぼく総数七千六百六十七人。全教よらぼく総数八十八人

万二千七百八十一人。



お や さ と ふ し ん  
 青 年 会 ひ の き し ん 隊  
 入 隊 者 大 募 集 !

青年会笠岡分会では、ひのきしん隊に入隊して下さる方を大募集しています。  
 こどもおちばがえり前の親里で共にひのきしんに汗を流し、  
 おやさまに喜んで頂きましょう。

- 入隊期間 6月1日～24日
- 入隊資格 高校生層以上の男子
- 実施内容 親里各所でのひのきしん、修練、にをいがけ等
- 携行品 着替え、タオルなど宿泊に必要な物。カッターシャツ、ネクタイ、スラックス。保険証。

心を動かさせ  
 世界を拓け



陽気ぐらしを目指し 布教と求道に励む あらきとうりよう